

金融・資本市場ワーキンググループの検討項目（案）

金融・資本市場改革

効率的かつ競争力のある金融・資本市場は、産業としての金融セクターの生産性の向上と発展をもたらすとともに、資金配分の効率化を通じて経済全体としての生産性の向上を促進する。団塊の世代の引退開始を機に、家計の金融資産の運用需要が高まることが予想されるが、これを機会として、世界に開かれた「自由と規律」ある、信頼される金融・資本市場を実現するため、以下について具体的に検討する。

- ① グローバルな市場間競争のなかで、東京をロンドンやニューヨークと並ぶ金融・資本市場とするにはどうすればよいか。外国と日本のプレイヤーが競い合う、魅力あるオープンな市場をどう形成するか。
- ② 金融、証券取引が複雑化・高度化するなかで、金融、証券取引の監督手法や体制はどうあるべきか。また、規律と整合的な規制改革をどのように進めるべきか。人材をどう育成・確保すべきか。証券取引所をいかに改革、強化すべきか。
- ③ 日本の会計基準、金融・証券税制や諸制度を国際的に調和させることや、監査、コーポレートガバナンスの強化のあり方についてどのように考えるか。